



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第103号 2021年5月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

田んぼも畑も待っています



今年度の募集には多くの方が集まって、新人を迎えるオリエンテーションは2回に分けるほどでした。谷戸の空気を吸って、土に親しみ、免疫力を高める活動は、今ときにはぴったりですね。

オリエンテーション苗床見学

お知らせ

総会 6/6(日)14時～

鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
会員の皆さまには、委任状または議決権行使書
にてご協力をお願いします。

**ホタルの紙芝居を読んでもくださる
ボランティアの方募集！**



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを観賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

日時：6/6～7/18 18:30～20:30

閉園時間帯につき駐車場は利用できません

集合場所：山崎口しいし前のベンチ

お申し込み＆お問い合わせは事務局まで
電話 or Fax or メールにて



ヤブデマリ

自然だより

～外来種（帰化植物など）と谷戸（鎌倉中央公園）～

農村にある本来の里山とは違い、宅地に囲まれた谷戸（鎌倉中央公園）のような里山では、さまざまな問題が起きます。中でも外来種（帰化植物など）の侵入は大きな課題です。昔からある野草や生きものを追いやってしまうなどの被害を与えてしまうからです。近年、谷戸で増えている外来種として、ヒメオドリコソウ、ナガミヒナゲシなどが挙げられます。5月初めには種子を散らしてしまうことや、草丈が低くてほかの野草や作物の間に埋もれるように咲いているので、草刈りでは対応できず、面倒でも手作業で除去することが必要になります。昔ながらの田畑に帰化植物が侵入しては、生態系として残念です。一方、外来種（帰化植物など）が昆虫や野鳥の食料（ハルジオン、セイタカアワダチソウ、アメリカザリガニなど）として生態系を豊かにしている面もあり、さまざまな見方があります。地域によって対応を変えるべきでしょう。個人的には、①近年（過去30年くらい？）急激に増えている種類（ウラジロチチコグサ、ヒメオドリコソウ、ナガミヒナゲシ）、②他の生きものへの影響が顕著な場合（アカミミガメ、トキワツユクサなど）などを基準に考えています。大部分の外来種（帰化植物など）は①②に該当しないので、生態系班では、限られた作業力を問題の多い数種類に集中しています。

谷戸の様子

3月から初夏のような陽気が続き、季節が半月ほど早く進んでいます。3月末にはサクラが散り始めました。4月上旬にアゲハチョウの仲間など、4月下旬に現れるはずの虫たちが姿を見せています。生態系保全班では、減少傾向にある、アカガエル類やヒキガエルのオタマジャクシを保護していますが、今年は湿地に作った保護区から、ヒキガエルの卵が盗まれる事件が起きました。保護区をこわし、水を抜いて盗んでいったので、残った卵も干上がる寸前でした。雑木林でもラン類が盗まれてなくなっているのを確認しました。残念なことです。カエルにせよ、野草にせよ、田んぼや雑木林の維持作業で生息地を存続させて復活を期待することが基本でしょう。加えて、卵やオタマジャクシの保護、野草苗の育成など、それぞれ工夫して対応していきたいと思います。

谷戸往来

自然公園等保護基金 助成決定

（公財）公益推進協会「自然公園等保護基金」2021年度助成事業に選定されました。鎌倉中央公園内の山崎の里山景観、生態系の維持を推進している当会の活動が、すぐれた自然環境の保存を継続的、発展的に行っていると評価されました。今年度の資源循環活動を推進するために助成金を有効に活用していきます。

体験学習

大船中3年 3/4 風致保存会主催「鎌倉の谷戸保全体験」

★自然を守っていくためには、誰かが手入れしなければならないと学びました。また、木や葉っぱを手入れすることで、防災にもつながると学びました。

★今日は、ほとんど自分しかゴミひろいをしていなかったけれど、自分の姿を見て、少しでもそのような行動をしてくれる人が増えるといいなと思いました。

★今と比べて昔の人たちが頑張って自然環境を保とうとしていたことが伝わり、自然のために自分にできることを探すきっかけとなりよかった。

★日頃から意識して自然を感じることで「私が守る」という意識を強めたと思いました。

★緑のボランティア活動で小学生、中学生もいろいろな形で参加しているんだなと思いました。

体験学習予定

深沢小5年 4/26、5/6

富士塚小5年 4/26

小坂小3年 6/21

教育支援教室ひだまり 5/21、7/14

Largo 5/24

田んぼ班

5月からは、田うない、くろつけ、しろかき、田植えと作業の最盛期となります。例年ですと大賑わいになります。腰をかがめての作業が多いので、たまには美しい青空を見上げて頑張りましょう。



 種籾蒔き



 ジャがいもの植付け

畑班

5月～6月はさつまいもの苗植え、落花生・たのくろ豆の種蒔き、長ねぎの移植の作業が続く。カエルやウグイスの声がまじかに聞こえる畑は、コロナも忘れる癒しの場。じゃがいもの収穫も楽しみ。

雑木林管理班

今期予定した、木の間伐、枝打ち、薪作り、竹林整備と、全ての作業が完了しました。しばらくは田んぼ班の活動に合流します。田植えが終わってから土手の草刈りで活動を再開する予定です。

自然遊び班

新年度が始まり里山探検隊にたくさんの申し込みがありました。今年も、さつまいもの苗を植えたり、やきいもを焼いたり谷戸を歩いて冒険したり…。みんなで泥んこになって、谷戸を満喫します。

植物育成班

ツルニンジンの新芽に支柱をしました。小さかった株もあっという間に成長し、花がみられるか楽しみです。また、野草畑のニリンソウも昨年よりも増えました。このまま増やしていきたいと思います。

農芸班

梅の実りは嬉しいですね。早春の花を楽しんだ後は、爽やかな香りが楽しみです。枝が混み合って風通しも日当たりも悪く、実がつかないこともあります。剪定などを行い木々の環境も整えています。

生態系保全班

カルガモなどに食べられないように、オタマジャクシの保護を始めました。竹の支柱を入れ、水面に金網が沈まないように工夫しながらネットを張りました。この方法でどのくらい効果があるか楽しみです。



 オタマジャクシの保護

5 月

2 日 (日) 田 田うない ☆
 5 日 (水・祝) 田 畔草刈り、苗床草取り ♣
 9 日 (日) 田 くろつけ
 自 里山探検隊「さつまいも苗植え」
 10 日 (月) 畑 さつまいも畝作り ☆
 15 日 (土) 田 くろつけ
 16 日 (日) 田 くろつけ ☆
 畑 畑の整備 ♣
 19 日 (水) 植 貴重な植物の分布調査
 22 日 (土) 田 しろかき ☆
 23 日 (日) 田 しろかき
 26 日 (水) 畑 さつまいも苗植え ☆
 28 日 (金) 田 苗取り・紐張り・しろかき
 29 日 (土) 田 田植え
 30 日 (日) 田 田植え ♣

6 月

2 日 (水) 農 梅干し作り(梅収穫・下漬け) ♣
 生 水の生きものの調査
 5 日 (土) 田 苗取り・田植え・紐張り ☆
 生 夜の自然パトロール ♣
 6 日 (日) 田 田植え ♣
 7 日 (月) 畑 落花生の種蒔き ♣
 13 日 (日) 田 田の草取り・補植
 雑 土手の手入れ ♣
 16 日 (水) 畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
 19 日 (土) 生 夜の自然パトロール ♣
 20 日 (日) 田 田の草取り ♣
 雑 鎌を研いで草刈り
 自 こども里山一日体験
 「じゃがいも掘り」▶
 21 日 (月) 畑 長ねぎの移植 ☆
 27 日 (日) 田 田の草取り、苗床片付け
 畑 じゃがいも掘り ♣
 雑 土手の手入れ ☆

7 月

3 日 (土) 生 夜の自然パトロール ♣
 4 日 (日) 田 田の草取り ☆
 雑 土手保全のための草刈り ♣
 5 日 (月) 畑 にんじんの種蒔き ☆
 10 日 (土) 生 夜の自然パトロール ♣
 11 日 (日) 田 田の草取り ♣
 雑 下草刈り ☆
 自 里山探検隊「谷戸しごと」
 14 日 (水) 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ♣
 18 日 (日) 田 田の草取り
 雑 土手の草刈り
 22 日 (木・祝) 田 田の草取り
 25 日 (日) 田 土手の草刈り ☆
 雑 雑木林の下草刈り ♣
 講座「谷戸の生きもの」☆

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験

▶ こども里山一日体験 会員以外の方 参加費 500 円/組
 各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合 (農芸班、自然遊び班は 10 時)
 夜の自然パトロール: 18:30 山崎口ししいし前集合 20:30 ごろまで

青空自主保育なかよし会保全活動

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

田: 田んぼ班 畑: 畑班 雑: 雑木林管理班
 農: 農芸班 自: 自然遊び班
 生: 生態系保全班 植: 植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10 時～16 時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

E メールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報104号)は、2021年7月に発行予定

